



## いよいよ2月 入試です

第一印象は外見勝負。きちんとした身なりで好感度UPを。入試の当日、「靴が汚れてる!」「髪ゴムがない!」なんてあわてないように、必ず前日までに確認をしましょう。もちろん、忘れ物がないよう、持ち物も前日までに用意してください。もちろん一人で高等学校まで行くことができますよね!



普段から服装や身なりに無頓着だと、寝ぐせや無精ひげ、鼻毛や目ヤニに気づかない場合もあります。清潔感第一で、身だしなみを整えてください。逆に普段、おしゃれに気を使っている人は、日ごろのスタイルは一度忘れて、受験用と考えましょう。制服を正しく着こなすこと。清潔な服装を心がけて。髪型や爪といった細かい部分も、前々日までに準備を。

## チェックしよう

- 髪は短く、清潔感のある髪型に。短い場合も立てたり、固めたりはNG。ナチュラルスタイルで受験に臨もう。
- シャツは前々日までに洗ってアイロンをかけた清潔なものを。男子学生服の上着のボタンは一番上までとめる。
- ズボンの腰履きは厳禁! シャツは必ずズボンの中に入れて。ベルトも意外と目立つので黒または茶色です。
- 前髪は目にかからない長さに。礼をしたときに髪が垂れ下がらないよう、ピンできちんと留めて。髪留めは黒、紺などシンプルなもの。
- 長いのが好きじゃないからといって、スカートの巻き上げはNG!
- 手元もよく見られます。ネイルはしないで、爪は短く、清潔に見える形に整えて。
- カバンの中身は必要なモノだけに厳選しておこう。パンパンになっているのは格好悪いし、必要なものがすぐ取り出せないことも。
- 服の裾などがほつれていないか、ボタンが取れかかっていないかなど、細部のチェックは大切。鏡の前で必ず全身チェックも。
- 履き潰した靴はNG。前々日までにきちんと汚れをとる。型崩れしていないものを準備。新品は靴擦れの恐れが。事前に慣らしておこう。
- 下靴もシンプルなもの。上履きが必要かどうか注意事項を読む。
- 防寒着は準備しておこう。注意事項をよく読んで自分勝手に判断しない。

## 基礎編 あなたはウっかり使っていない? 敬語と思ってたら、実は間違ってるかも!

スタディサプリ進路より

体育会系でありがち。これは「元気の良さ、明るさ」と、「威勢のいい言葉遣い」をはき違えているケース。語尾をきちんと発音しないで、「～っす」という表現は、高校の先生にとって無礼者以外の何ものでもない。語尾はキッチリ発音しよう。



「うちの親」「クラスの担任」「推してました」は乱雑な印象。「私の両親」「クラスの担任の先生」「紹介してくれました」にするなど、適切な表現を心がけて。ちなみに「行ければ」は「れ不足言葉」、「推してました」は「い抜き言葉」というNG表現。

わかるかな? NGは「見れた」だが、OKは「見られた」「ら抜き言葉」はきちんとした場所ではNG。食べれる→食べられる、のように「ら」を抜かずに表現を。ほかに「い抜き言葉」にも注意を。「知ってる」ではなく「知っている」が正しい表現。



話の内容はマトモだが、語尾を伸ばすことでだらしない印象に。語尾は伸ばさず、なおかつ上げない。語尾を上げて、相手に同意を求める口調は、自信がないと思われるかも。また、「なので」は文頭に使わず、「だから」や「ですから」に言い換えを。

## 応用編 志望動機について、自分の言葉を使いながら敬語でまとめてみよう

語尾が「～すよね」「っていうか」というのは問題外。ら抜き言葉の「見れる」は「見られる」が正しい。「自分的には」もNG。さらに言葉遣い以上に深刻なのが、自分がこうしたいということばかりで自己中心的な点。社会貢献など、幅広い視野で考えてみよう。また、「あたし、〇〇に興味あるじゃないですか～」と言われても、初対面の面接官は知らないこと。自分を知らない相手に、自分をアピールする場だという点をお忘れなく。また、相手に同意を求めるよりも、自分の意見を明確に伝える努力をしよう。



NG! 自分的には〜。この学校マジで入りたいたんよ。やっぱり野球見れるし、やりたいし。ここだったら夢がかなうっていうか。



NG! あたし、基礎とか恋愛とかに興味あるじゃないですか〜。だからそういう動機みたいなのもいいかなって、親と話してたんよ〜。



OK! 私がこちらの大学に入学したいと考えている理由は、野球です。こちらに入学してプロを目指し、子どもたちに夢を与えてあげたいと考えているからです。



OK! 私は恋愛や結婚という人生の分岐点に以前から興味がありました。ですから、こちらの大学でライフプランニングという研究分野に取り組みたいと考えています。